

平成24年(2012年)3月12日発行

第14回福岡県小中特別支援学校事務職員研究大会

平成23年12月14日(水)都久志会館を会場に、「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」を大会テーマに、第14回福岡県小中特別支援学校事務職員研究大会を開催しました。開会行事には、公務多用の中多くの来賓の方が出席され、代表して福岡県教育庁教職員課人事管理主事 緒方謙一氏にご挨拶をしていただきました。その後、日本大学 末富 芳先生による記念講演、午後からは3分科会に分かれ、それぞれの分科会テーマに沿った研修を行いました。末富先生の講演全文は、3月に発行予定の研究集録に掲載の予定です。また、分科会の詳細は当日の研究集録をご覧ください。

今回の研究大会には、年末の慌ただしい中、来賓・教育関係者及び県外からの参加者を含め545名もの参加をいただきました。深く感謝いたします。また、当日実施したアンケートでは多くの意見・感想などが寄せられました。来年度以降の研究大会の参考にしたいと考えています。



1 記念講演

日本大学文学部准教授 末富 芳先生「教育費の公私負担と学校事務職員」

2 分科会

第1分科会 諸連携の実践と学校事務の方向性

春日西中学校「コミュニティ・スクールと学校事務職員の関わり」

福事研北九州支部・北九州市立大学「事務職員間の連携から地域大学との連携へ」

第2分科会 学校財務の課題と実践

古賀市・糟屋郡支部「共同実施の可能性を考える」

嘉麻市「学校予算と学校事務職員の役割」

第3分科会 セルフマネジメントと学校事務の仕事向上について

佐賀市立城南中学校事務長 古川 治先生

参加者の感想（抜粋）

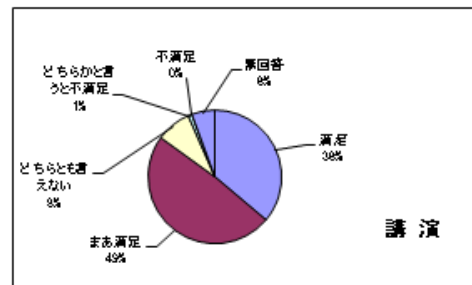
- 数値を含め視覚をとらえた講演で良かった。管理費を差引いた額が教授活動予算になっている現状を再考する必要ありと感じさせられました。(講演)
- とても参考になりました。学校予算に関して色々な見方ができました。予算についてこんなとらえ方ができるんだと学ばせてもらいました。(講演)
- コミュニティ・スクールの運営と事務職員の取組について、とてもわかり易い説明だった。北九州市支部と市立大学の連携は、地域の教育力向上や地域振興(貢献)の観点からもとてもよいアイデアで、相乗効果を期待したい。(第1分科会)
- 色々な地域の学校の話聞いて参考になった。状況は違うが同じような事で悩まされており各学校の取り組みを興味深く聞くことができた。(第2分科会)
- はじめてマネジメント研修に参加しましたが、古川先生の話は大変楽しく聞かせていただきました。アウトプットしたいと思います。(第3分科会)

(アンケートより)

第14回研究大会アンケート集約

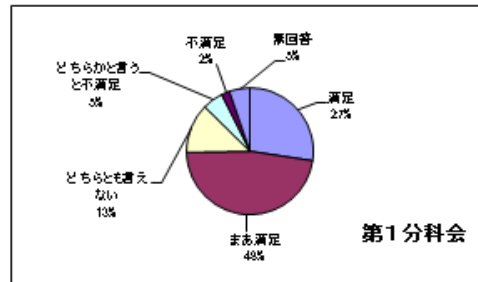
講演

1	満足	77	36.2%
2	まあ満足	104	48.8%
3	どちらとも言えない	18	8.5%
4	どちらかと言えと不満足	2	0.9%
5	不満足	0	0.0%
6	無回答	12	5.6%
計		213	100.0%



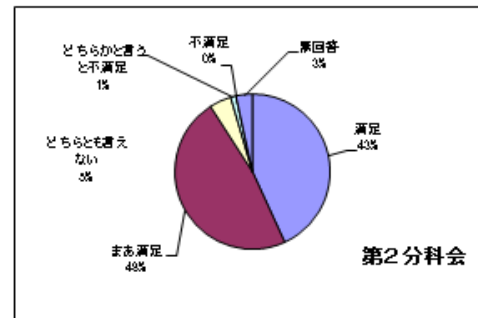
第1分科会

1	満足	26	27.4%
2	まあ満足	45	47.4%
3	どちらとも言えない	12	12.6%
4	どちらかと言えと不満足	5	5.3%
5	不満足	2	2.1%
6	無回答	5	5.3%
計		95	100.0%



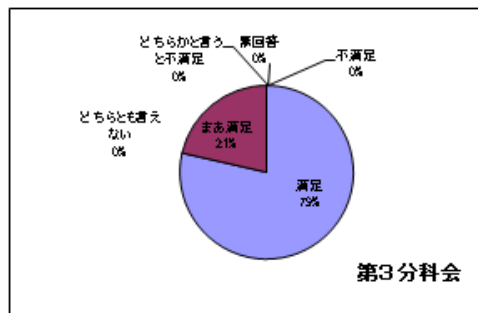
第2分科会

1	満足	38	43.2%
2	まあ満足	42	47.7%
3	どちらとも言えない	4	4.5%
4	どちらかと言えと不満足	1	1.1%
5	不満足	0	0.0%
6	無回答	3	3.4%
計		88	100.0%



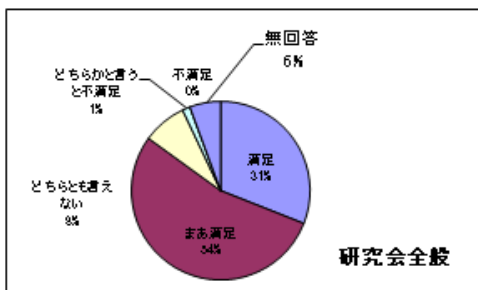
第3分科会

1	満足	22	78.6%
2	まあ満足	6	21.4%
3	どちらとも言えない	0	0.0%
4	どちらかと言えと不満足	0	0.0%
5	不満足	0	0.0%
6	無回答	0	0.0%
計		28	100%



研究会全般

1	満足	66	31.0%
2	まあ満足	115	54.0%
3	どちらとも言えない	17	8.0%
4	どちらかと言えと不満足	3	1.4%
5	不満足	0	0.0%
6	無回答	12	5.6%
計		213	100.0%



平成23年度 第18回 全事研セミナーに参加して

大牟田市立甘木中学校

中村 遥

平成23年度第18回全事研セミナーが平成24年2月17日、埼玉県にある川口総合文化センター リリアにおいて開催されました。会場は3階席まであり、全部で2,002名入るとも大きなホールでした。

セミナーの内容について主なものをあげると、午前中は文部科学省初等中等教育局視学官の永井克昇氏による行政説明と、「教員の資質能力向上特別部会について」兵庫教育大学大学院学校教育研究科教授の日渡円氏より講義が行われ、午後は「学校評価のねらいと学校改善」について千葉大学教育学部教授天笠茂氏からの講義と、「学校評価を活用した組織力ある学校づくりー学校評価の取組実態と好事例に見るポイント」について株式会社野村総合研究所妹尾昌俊氏より講義がありました。



文部科学省の行政説明や講義の中では、コミュニティ・スクールの推進についても触れられており、「コミュニティ・スクール」と午後の講義の主題でもあった、「学校評価」は地域とともにある学校づくりを目指すというマネジメントツールだということを実感しました。また、午後からの講義では、学校評価の現状、推進課題、学校評価をうまく活用できている学校とそうでない学校の違いなどを話されました。話の中では、学校評価、学校組織マネジメントチームに事務職員が入ると、大きな効果が期待できるというお話もありました。

私の勤務する学校は、大牟田市学校管理規則に則り、自己評価・学校関係者評価、それぞれ評価を行った後、自己評価は結果を公表し、学校関係者評価の公表は努力義務となっています。校長によって推薦された学校評議委員は、学校関係者委員会を年に数回開きます。このような流れの中で私は、運営委員会等で各評価の結果を見て参考にするくらいで、とても受動的でした。今回の講義を聞いて、学校評価をうまく活用できていない事例に出てきた部分に似ており、自分自身の学校評価への取り組み方を反省してしまいました。

妹尾氏の話では、事務職員には①学校内外の情報が集まってくる ②ある程度教員と距離を置いたうえで客観視した、全体観をもてる ③実行部隊でないからこそ、言いやすいことも言えるという3つの強みがあるというお話がありました。実際教育に携わらないので関係ないのではなく、学校を経営するメンバーの1人として自覚する。そして、学校評価等を通じ、学校教育目標実現のために、気づいたことや情報は職員会議等で発信するなど、アイデアや情報をできるだけ提供できるように努力していきたいと思います。

お知らせ

福事研では会員の皆様に、より利用しやすいように、来年度早々にホームページを一新します。3月上旬から試験運用を開始し、4月から本格実施する予定です。旧サーバーは7月下旬に運用を終了します。今まで同様、事務処理ソフトも紹介したいと思います。各支部で使われている有用なソフトがあれば是非お知らせ下さい。また、経費節減や早急な情報発信のために、会報「福事研」は今回の第24号をもって、紙ベースでの配布を取りやめ、福事研ホームページへの掲載に変更します。なお以上のことは支部評議員会や総会資料などで周知していきます。

経過報告

10月14日(金)	第4回研究特別委員会
11月4日(金)	学校財務フォーラム(大阪市)
11月11日(金)	第5回研究特別委員会
12月5日(月)	第5回研究推進委員会(理事会) 第14回研究大会参加集約、日程及び研修内容について
12月14日(水)	第14回研究大会
1月14日(土)	第1回役員選考委員会
2月3日(金)	第6回研究特別委員会
2月7日(火)	第6回研究推進委員会(理事会) 第3回拡大研究推進委員会(支部評議員会)の議題について 全事研セミナー(参加者の確認) 役員選考について 研究特別委員会(研究部)からの提案
2月17日(金)	全事研セミナー(埼玉県川口市)
2月25日(土)	第2回役員選考委員会
3月6日(火)	第3回拡大研究推進委員会(支部評議員会) 全事研セミナー環流報告 平成24年度役員について 支部研究補助費について 各調査・提出物について

編集後記

◇先月、全事研セミナーを受講するため川口市へ行きました。◇初めての参加でしたが、学校評価など有意義な研修を受けることができました。◇セミナー当日、遅く福岡に帰ってきて疲れましたが、次回も是非参加したいと思います。(三小田)

●理事の仕事に慣れてきたなと思ったらもう退任です。●あっという間の二年間でした。皆様のご協力に感謝します。(北崎)

○初めて理事と広報部を受け持ち、勉強になることが多い1年でした。○不手際も多かったと思います、すみませんでした。そして、どうもありがとうございました。(野見山)